

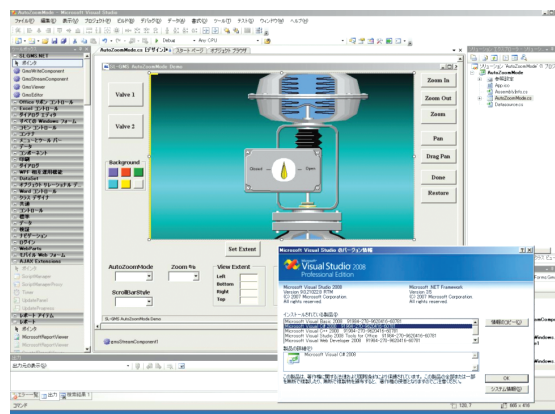
Visual Studio 2008 対応の SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET 最新版をリリース Microsoft .NET 環境における監視制御システムの開発をサポート強化

2008年5月14日 ソフトウェア開発環境展 @東京ビッグサイト発 プレス・リリースより

SL ジャパンは、Microsoft Visual Studio 2008 ならびに .NET Framework 3.5 に対応した SL-GMS Developer for .NET ならびに SL-GMS Custom Editor for .NET の最新バージョン 3.1b をリリースしたことを、発表しました。SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET は、Microsoft .NET Framework における Visual Studio を使った監視制御アプリケーションならびにその固有カスタム・エディタの開発を目的に設計されたツールで、リアルタイムなデータのコンテンツリッチで高性能なダイナミック・グラフィックスによる可視化において、迅速に実現できるソリューションを提供しています。

リアルタイムな動的属性を持った画面のグラフィカル・モデルは、SL-GMSDraw エディタで対話的に作成し、すぐにその動的振る舞いをプレビューして確認できるようになっています。今回の新バージョンでは、動的属性をビジュアルに指定できるダイアログなど、その使いやすさも強化しています。そして、SL-GMSDraw エディタで作成した画面のグラフィカル・モデルを表示する SL-GMS Developer for .NET のビューワー・コントロールは、Visual Studio 2008 のツールボックスから選択し、Windows フォームにインスタンスしてサイズや位置の属性を指定します。そして、Web ブラウザまたはデスクトップで運用するアプリケーションをデータに接続すると、グラフィックス画面がリアルタイムに更新されます。

また、.NET アプリケーション固有のカスタム・エディタを速やかに構築でき、その開発工数を数人年から数人月に削減する SL-GMS Custom Editor for .NET では、そのエディタ・コントロールを Visual Studio 2008 から使ってカスタム・エディタを開発し、アプリケーションに容易に統合して組み込めます。



Microsoft Visual Studio 2008 における SL-GMS Developer for .NET のビューワー・コントロール

メモリ常駐データ・キャッシュによる高速な解析機能を追加した Enterprise RTView 最新版をリリース データ・グリッドへの可視性を強化した Enterprise RTView for Oracle Coherence の新 V4.9 も同時リリース

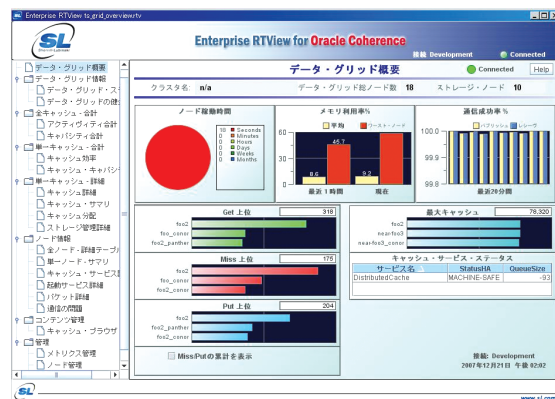
2008年4月2日 カリフォルニア州コルテ・マデラ市発 プレス・リリースより

SL 社は、リアルタイム・データを格納するデータ・キャッシュの容易な定義によって、最も高性能なコンピューティングと解析を可能にした、Enterprise RTView の新バージョン 4.9 をリリースしたことを、発表しました。このキャッシュは、リアルタイム・データの解析処理を高速に実行し、リアルタイムな現在値を履歴値と比較することを目的に、特別に設計されたものです。結果は、ダッシュボードに表示、またはアラートや自動化されたコマンドをアクティベートするルールへのインプットとして使用可能です。

SL 社のインメモリ・アプローチでは、リアルタイムなデータをデータベースに格納し、それからデータベースに格納した履歴データで解析を実行したり、計算処理が必要ときにクエリを実行してデータベースに問い合わせるよりも、遥かに高速なコンピューティングを実現することが可能です。キャッシュは、スカラー値またはフィルタリング用のインデックスを付けたテーブル・オブジェクトとして保持し、オプションとしてタイムスタンプ付きのスカラー・データやテーブル・データで格納できます。その他、今回のリリースでは、多次元のデータによるトリガーやダイナミックな追加・実行が可能になったアラート・ルールの強化や、Apple Macintosh プラットフォームのサポートなどが追加されました。

また、同時にリリースした Enterprise RTView for Oracle Coherence 新バージョン 4.9 では、グリッド・ノード全体またはグリッド内キャッシュ全体における詳細の比較統計を提供する多くのビルトイン画面が追加されており、また最も共通して起こる問題状態を早期に警告するアラート機能が予め構成されています。これらの高度な解析機能と自動エラー検知機能によって、Oracle Coherence データ・グリッドへの可視性をさらに強化し、その運用のみならず、開発ならびにリグレーション・テストにおいても極めて有効です。

Oracle Coherence データ・グリッドとクラスタの稼働状況オーバービュー監視画面



インフラ監視からビジネスとオペレーション状況をリアルタイムに監視

「Enterprise RTView は、Smart & Final 社における複雑な異機種環境全体に単一のビュー画面を提供し、オペレーションと IT チームがより効果的に機能できるようにした。この拡張された可視性によって当社のサプライチェーン業務プロセスを合理化し、システム低下を最小限に留め、しいては収益損失とコスト発生による生産性低下の最小化を可能にした。」

Anna Papp 氏 Smart & Final 社 Portal, Integration and Reporting Project Manager

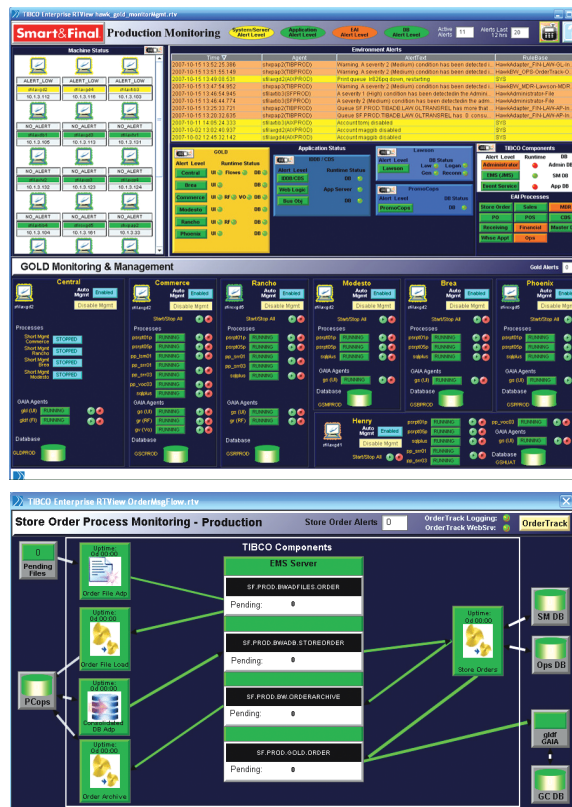
Smart & Final 社は、カリフォルニア州、ワシントン州、アリゾナ州、ネバダ州、アイダホ州、北メキシコにおいて、282 チェーン店舗の食品ならびにフード・サービスのウェアハウス・ストアを運営しています。同社は、Enterprise RTView をベースにしたリアルタイムな企業内監視、可視化、管理ソリューションの実現で、2007年の InfoWorld 100 アワードをリテール（小売）カテゴリで受賞しました。インフラ監視から、ビジネスとオペレーション状況をリアルタイムに監視している事例として、ご紹介いたします。

右上の画面では、Smart & Final 社における Aldata GOLD サプライチェーン管理をはじめとする4つのエンタープライズ・アプリケーションを、それらの TIBCO インフラストラクチャならびにアラーム・リストのリアルタイムな監視とともに、高レベルで監視しているものです。画面下方では、実際のサプライチェーン・システムを物理的な倉庫ごとのパネルで表示。オペレーションのユーザは、全サポート・システムをこの画面から監視することができ、プロセスをスタートまたは終了したり、ルールを使用可能にまたは使用不可に設定、また必要なときには Oracle エンタープライズ管理システムをドリルスルーして閲覧することもできます。さらに右下の画面は、同社の店舗におけるオーダー・プロセスのエンド・ツー・エンドのトランザクションを監視しているもので、ユーザは、プロセスの詳細、店舗オーダー状況、オーダーのトラッキングをこの画面から実行できます。

2007 InfoWorld 100 アワード掲載記事より：

InfoWorld.com, Jason Snyder 筆 2007年11月12日

「サプライチェーンにおける停止時間を減らし、リアルタイムなオペレーションへの可視性を提供することを目的に、Smart & Final 社はエンタープライズ監視・可視化・管理イニシアティブを発足した。SL 社の Enterprise RTView を活用し、ソリューションは17のデータベース（Oracle と SQL Server の両方）、4つのアプリケーション、運用サーバ18台とテスト・サーバ11台、50以上のアクティブなプロセス分野を監視する。」



イベント・セミナーのご案内

「現場フロアからの監視データを .NET で企業内展開」セミナー（無料）

2008年6月19日（木） 15:00～17:00 @エイベックス ビル（東京・南青山、SLジャパン所在ビル）

SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET による、監視制御システムのリアルタイム・ダイナミック GUI と専用ビルダーの構築について、先行ユーザ様事例、実演、今後のロードマップ計画などを交えてご提案してまいります。

★セミナーのお申し込みは、Newsletter 返信用ファックスまたは seminar@sl-j.co.jp で承ります。
セミナーについては、ホームページをご参照ください。

SL ジャパン設立 10 周年記念「特別講演・ユーザ会」（無料）

2008年9月11日（木） 13:30～19:00 @ホテル フロラシオン 青山（東京・表参道駅近く）

SL 社の創立者で、SL-GMS ならびに Enterprise RTView ソフトウェアを設計・開発した、米国 SL 本社 CEO（最高経営責任者）の Tom Lubinski が来日し、これまでご支援くださった国内ユーザ様をお迎えしての「特別講演・ユーザ会」を、懇親会も交えて開催いたします。「エンタープライズにおけるプロセス制御」と題し、リアルタイム・データの可視化と監視技術の最前線を、Tom Lubinski ならではの見解をもとに講演いたします。また、ユーザ様による適用事例のご発表も予定しております。

★詳細は7月頃にご案内する予定ですが、ぜひカレンダーへのマーキングをお願いいたします。

Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30 エイベックスビル 3階
Tel. 03-3423-6051 Fax. 03-3423-6070 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年 3 回発行 2008年5月27日発行 通巻 30 号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。